

2025 年度

学校名 横浜市立子安小学校

対象学年 4年

① 学習指導案

プログラム	No. 5 「地域かるた」
単元名 (全70時間)	4年1組子安まちかるた～子安の「まちの魅力」をかるたで伝えよう
学習のねらい	かるたを作るために自分たちの地域を調査する活動を通して、地域には自分たちの知らない様々な「人・もの・こと」の魅力があることを理解し、その魅力をこれからも残していきたいという思いをもつ。交流を通してまちの魅力を伝えるなかで、今後も地域の一員として、まちを大切に、自分ができようことを考えようとする力を身に付ける。
学習内容	1 総合の活動について話し合う 2 かるたの作り方を知る 3 子安のまちのよさを調べる 4 調べたことをもとに、読み札の言葉や絵札の絵を考える 5 読み札、絵札を完成させ、印刷にかける 6 かるたの交流を通しながら、子安のまちの魅力を発信していく 7 総合のふりかえり
参考資料 準備品 実施場所等	子安のまちに昔からある店や自分たちのおすすめの店に取材をする 地域の神社や公園に行って魅力を探す かるたづくりのポイントについて、地元かるたを作っている方に教えていただく

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
	○昨年度の学びをもとに、総合の時間で大切にしたいことを決める  ○まちのよさを伝えるためにどんな方法で伝えることができるか考える	●昨年度、各クラスで取り組んだ活動と、その思いを伝え合い、4年生でどんなことを目指すか考えられるようにする  ●「地域の魅力を伝えられる」「子安のまちをすきになってもらいたい」という言葉をキーワードに、それが実現できるような材を見付けられるように促す  ●子どもたちの気付きにもつながるように、「都道府県カルタ」「神奈川県民カルタ」などを置き、子どもたちが、材のよさを感じる	

		ことができるようにする	
	○まちのことを知るために、まちに出て調べたり、インタビューをしたりする必要性に気づき、計画を立てる	●ウェビングを使い、「子安まちかるた」をつくるために、どんな活動が必要か考えられるようにする	☆まちの魅力を伝えるかるたを作るために、必要なことを考えている
	○かるたのよさや、かるたの特徴について様々な資料をもとに調べる	●国語の短歌・俳句の学習とも関連付けることで、言葉のリズムに気付いたり、短い言葉に伝えたいことを書いたりする方法を学べるようにする ●かるたの特徴を調べるなかで、疑問に思ったことを調べられるように関連した本を置いたり、かるたづくりをしている人に話を聞いたりすることができるようにする	☆読み札に書かれている文のリズムに気付いたり、かるたには読み札になった絵札があるなど、かるたの特徴を見付けたりしている
	○子安の魅力を見付ける取材活動を行い、気付いたことを話し合う。	●自分たちのお気に入りの場所に繰り返し行き、まちの魅力について調べることができるようにする ●地域の自治会長さんや保護者など、子安のまちに詳しい人から話を聞く機会を設けることで、まちの魅力に気付けるようにする。 ●「まちのどんなことを知ることができたか。」「まちのお気に入りの場所はどんなところか。」ということを問い返すことで、調べたことや聞いたことを伝え、整理することができるようにする	☆子安のまちについて積極的に調べ、まちの魅力を見付けようとしている
3	○第1回目のかるたづくりをする。	●自分たちの取材したことをもとに、どんな内容を盛り込んだらよいかを話し合い、かるたを作成できるようにする	☆自分たちが取材して分かったことをもとに、市販のかるたを参考にしして作ろうとしている


	○作ったかるたで遊び、問題を整理する	●市販の地元かるたと比べたり、遊んでみて感じたことを伝え合ったりするなかで、自分たちのカルタについて分析し、次の活動につなげられるようにする	☆話し合い活動を通して、友達の考えに共感したり目的に応じて多面的に検討したりすることができる ☆子安のまちを見る視点を増やしている
	○もっと知りたいことを選んで、さらに調べたり、取材をしたりする	●地元かるたを作っている人から地元かるたを作る思いを聞いたり、かるたづくりに必要なことを質問したりすることができるようにする ●もっと魅力が伝わるかるたを作るために、付け加えたい内容や調べ直したいことをインタビューしたり、取材できるようにしたりする	☆専門家からの話を聞き、新しい視点を見付けたり、自分たちのかるたづくりに活かそうとしたりしている ☆1回目の振り返りをもとに、新たな視点を見付けインタビューや取材をしようとしている
4	○第2回かるたづくり	●自分たちの取材したことや1回目のかるたづくりをもとに、どんな内容を盛り込んだらよいか話し合い、かるたを作成できるようにする。	☆1回目の振り返りで見付けた新たな視点やインタビューで取材したことをもとに、魅力が伝わるかるたを作ろうとしている
	○作ったかるたで学校の友達に遊んでもらい、感想をもらう	●他のクラスの友達に遊んでもらうことを通して、客観的な視点でかるたについて意見をもらい、次のかるたづくりの見通しをもてるようにする	☆友達からの感想をもとにかるたについて振り返り、次のかるたづくりに活かそうとしている

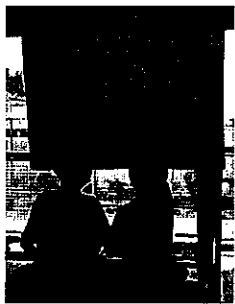


	○第3回かるたづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●かるたの内容だけではなく、遊び方の工夫にも注目できるように問い返しをしていく</li> <li>●地元かるたを作っている人からかるた遊びの仕方を聞ける機会をつくる</li> </ul>	☆かるたは、内容だけではなく、みんなが楽しんであそべるような工夫が必要だということに気づけている
5	○かるた大会の計画を立てる	●多くの人に、子安のまちの魅力や自分がお気に入りの場所が伝わるように、かるた大会のもちかたについて話し合うことができるようにする	☆どのような会にすれば、「まちの魅力」が伝わるかるた大会になるかを考えている
	○かるた大会を開催する	●地域の魅力が伝わるかるた大会になるように、伝える内容やかるたの遊び方を確認し、一人ひとりが魅力を発信できるようにする	☆かるた大会を通して、まちの魅力を発信しようとしている
6	○1年間の振り返り	●「子安まちかるた」づくりを通して、どんなことを学んだか、どんなふうに成長できたかを振り返ることができるようにする	☆かるた作りを通して、自分のまちに愛着をもったり人と関わることのよさを感じたりしている

<留意点>

② 事業実施報告書詳細



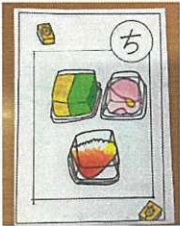

学校名 横浜市立子安小学校



時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	教室	○昨年度の学びをもとに、総合の時間で大切にしたいことを決める *並行して、社会科の導入として、「都道府県かるた」や「神奈川県民カルタ」などをして、かるたに興味をもてるような環境を整える【社会・休み時間】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3年生の総合でも、まちのことについて調べたけれど、4年生の総合では、もっとまちのことを知りたい。」</li> <li>・「子安のまちについて、楽しく知ってもらう方法はあるかな。」</li> </ul>
2~3	教室	○自分たちのまちのおすすめポイントを探し		・「みんなが、おすすめの店は、同

		<p>て、学区地図に付箋で貼る</p> <p>【土日、夏休みなどを利用して、自分のまちのおすすめを探す】</p> <p>○付箋が貼られた学区の地図を見て、まだ見付けられていないところを確認する</p>		<p>じところが多いね。」「神社や公園もおすすめの場所だよ。」</p> <p>・「海側は、行ったことがない人が多いから、おすすめが少ない。」「おすすめの場所を探しに行こう。」</p>
3	教室	<p>○かるたづくりについて話し合う</p> <p>【国語：「短歌と俳句」の学習と合科】</p> <p>○1回目のかるたづくりをし、作ったかるたの分析をする</p> <p>*担任は、かるたづくりをしている人を見付け、協力してもらえるか相談をする</p>	 	<p>・かるたは「読み札と絵札があるよね。」「読み札の言葉は、俳句と同じ五・七・五でいいのかな。」</p> <p>・絵札を作るためには、取材にいった場所の写真をとってこないと書けないよね。」</p> <p>・「みんな同じお店の読み札ばかりだね。」「同じ文字から始まるものばかりで、五十音つくるのが大変そうだな。」</p> <p>・「短い言葉で表すのが難しい。誰か、かるたづくりの名人の人に聞かないとな。」</p>
2	教室	<p>○1回目のかるたづくりの分析をもとに、次の活動について話し合う</p>		<p>・「おすすめの場所について、それぞれの場所のよさを取材しよう。」</p> <p>・「お店のことやお店の人の思いを取材しよう。」</p>

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かるたづくりの名人に話を聞いて、遊び方やかるたづくりについて質問しよう。」</li> </ul>
1	教室	○かるたの専門家に来ていただき、かるたづくりについて教えてもらおう		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の思いでや感じたこともかるたの読み札に入れていいんだ。」</li> <li>・「絵のかき方もみんなが分かるようにはっきりかくといいんだね。」</li> <li>・「遊び方も、オリジナルの遊び方だね。4年1組らしい遊び方を考えたいな。」</li> </ul>
3	近隣の公園	○近隣の公園に行き、公園の魅力取材する	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブランコをこいだら、風がとってもきもちいいな。このこともかるたに載せたいな。」</li> <li>・「公園の花壇に花を植えている人がいるよ。インタビューしてみよう。」</li> </ul>

2	教室	○第2回かるたづくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブランコにのって風がきもちよかった。」って入りたいな</li> <li>・「花がきれいだったから、そのことも書きたい。」</li> <li>・「この前、かるたづくりの専門家の人が、五・七・五の文字数にとらわれなくていいと言っていたから、読み札に入れたい言葉が入るようになったよ。」</li> </ul>
1	教室	○1回目のかるたと2回目のかるたを見比べて分析をする		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「1回目のかるたは、知っていることしか書いていないけど、2回目は、自分たちの感じたことも書いてかっていいね。」</li> <li>・「読み札の言葉のリズムも1回目よりもよくなっている。」</li> </ul>
17~18	近隣の店 ・公園・ 商店街・ 子安浜・ 神社	○各グループに分かれて、店・公園など、その場所の魅力や店の人の思いを取材する *あらかじめ、子どもが行く場所の担当の人と連絡をとり、活動の目的や子どもたちが取材で聞きたいことを伝えておく		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家の人と店に行って買い物をしたことがあるけど、商品の並べ方に工夫しているのは知らなかったな。」</li> <li>・「神社のいちよう並木がきれいだよね。」「夏祭りも楽しいよね。」</li> <li>・「いくつか公園に行ったけど、その公園にしかない</li> </ul>

				<p>遊具や景色があるから、それも載せたいな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1年生の時に、この公園の桜の木の下で写真をとったことを思い出したよ。」</li> <li>・「子安浜に初めて来たよ。漁師さんの話を聞いてびっくりした。」「井戸もあるんだね。」</li> </ul>
15	教室	<p>○取材メモをもとに、かるたの読み札、絵札をつくる</p> <p>*各グループが、五十音のどの文字を使っているか、タブレットで共有して、同じ文字が重ならないように可視化する</p> <p>*印刷会社に連絡を取り、かるたの印刷を頼む手配をする</p>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「思い出エピソードも読み札に入れるといいね。」</li> <li>・「〇〇公園の景色がきれいだったから、読み札に入れるよ。」</li> <li>・「絵札は、読み札の言葉が伝わるようにかかないとね。」</li> <li>・「絵の具でしっかり塗らないときれいに仕上がらないね。」</li> </ul>
1	教室	<p>○校長先生に、総合の活動の報告をする。また、かるたの印刷を印刷会社に頼みたいことを伝える</p> <p>【プレゼンテーションの内容は、国語の学習と合科】</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今まで総合で学んだことをしっかりと伝えないとね。」</li> <li>・「校長先生にプレゼンテーションするのは、ドキドキするな。」</li> <li>・「校長先生に、許可をもらえてよかった。」</li> </ul>

4~5	教室	<p>○かるた大会のルールを決める</p> <p>*遊んでもらう学年に応じてルールを変える</p>	<p>ルール説明をします。 まず、審判は2人います。 カルタを取る時以外手を頭の上におきます。 お手つきをしたら次のターンは、1回休みです。そのターンが終わったら再開できます。同時にカルタをとったらじゃんけんをします。 絵札をとっても読み札は、最後まで読みます。</p> <p>ルールせつ明をします。 読みふだの声の速さを少しゆっくりにします。 お手つきの場合は一回休みです。 同時に絵ふだを取った場合はじゃんけんです。</p> <p>〈ルール〉 お手つきを3かいしたらつぎふだをとるときはやすみです。 ふだをとったらそのふだのしょうかいをします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分たちより年下の学年には、ゆっくり読んだり、ルールを簡単にしたりしよう。」</li> <li>・「大人の人たちは、少しルールを難しくするといいいね。」</li> <li>・「まちの魅力を知ってもらうために、途中で読み札をとっても、言葉は最後まで読もう。」</li> <li>・「読み札をとったら、その札に書いてあるお店や公園の話をする、よりまちのことを知ってもらえるね。」</li> </ul>
1	教室	<p>○印刷されたかるたで遊ぶ</p>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本当にかるたになった。うれしいね。」</li> <li>・「こうやってみると、文字も絵も個性があっいいね。みんなで作ったと実感できる。」</li> </ul>
6	教室	<p>○各学年の人や保護者の人にかるたをしてもらう</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちの魅力が伝わったと言ってもらえてうれしかった。」</li> <li>・「〇〇のお店に行ってみたくてうれしかったよ。」</li> <li>・「もう少し、ルールを見直した方がいいところもあったね。」</li> </ul>

7	教室	<p>○かるたの箱作り 【算数：直方体・立方体の学習と合科】</p> <p>○作ったかるたを最後どのようにするか話し合う</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「算数の学習を生かして、手作りの箱を作ろう。」</li> <li>・箱の外側は、和紙を染めてきれいにしよう。」</li> <li>・「内側は、画用紙を貼ろう。」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合でめざしていたところは、まちの魅力を知ってもらおうことだから、各学年に一つずつ渡して、これからも遊んでもらいたい。」</li> <li>・「校長先生にもいろいろと協力していただいたから、校長先生にもかるたを渡して、校長室にも置いてもらいたいな。」</li> </ul>
1	教室	○1年間の振り返り		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分が住んでいるまちでも知らないところがたくさんあって、魅力を発見できてよかった。」</li> <li>・「かるたに出てきたお店に行ってみたいと思った。」</li> <li>・「自分のまちを好きになったよ。」</li> <li>・「これからも、子安のまちの魅力を探し続けたいな。」</li> </ul>

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>○かるたづくりをするにあたり、「読み札の書き方は国語の学習で、かるたの箱作りは算数の学習で。」と、教科横断的に活動を進めていくことで、子どもたちも他教科を学ぶときに、必要感をもって学ぶことができた。そして、その学びを総合に活かすことができ、効果的だった。</p> <p>○かるたの読み札について、何も知識がないまま1度目をつくったことで、課題が見つかり、それが、地域への取材の目的や読み札づくりの工夫につながった。</p> <p>○かるたの読み札に、子どもたちの思い出エピソードを入れることで、4年1組ならではのかるたづくりができたと思う。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>○当初、講師の方に複数回関わってもらいたいと思っていたが、学校や相手の都合で、1度しか関わることができなかった。どのタイミングで関われるかを考えて相談することが大切だと思った。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>○児童は意欲的に取り組んでいた。学区も広いので、自分の住んでいる場所以外、初めて訪れる場所もあり、まちの魅力を取材するなかで新たな発見をしていた。また、お店の人に質問したいこと、講師の人にかかるたの作り方や遊び方について聞きたいことなど、一人ひとりが活動に対して前のめりで関わっていた。</p> <p>○国語、算数、社会などの教科と関連させることで、児童も「これは、かるたの学習に活かせるから、しっかり学習しないと。」など、必要感をもって学習をしていた。</p> <p>○1年間を終えて、かるたづくりの前と後では、児童のまちに対する愛着や思いの変化があったように思う。振り返りの中にも、「これからもまちの魅力を探したい。」「まちが好きになった。」などの言葉がたくさんあった。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>○児童が、自分たちの住んでいるまちに対して愛着をもち、自分の今よりももっと好きになるためには、どうしたらよいかを考えることで、総合の70時間の計画を立てることができた。また、地域の方や講師の方とのつながりのなかで、子安のまちの魅力やかるたの面白さを感じることができた。</p> <p>○総合をやるなかで、教科横断的な学びにも取り組んだ。効果的に行うにはどうしたらよいかを考えることで、国語や算数の教材研究も深まった。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み (児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等)</p> <p>○「まちかるた」をつくるためには、教師がそのまちの魅力を知らないと活動が進められないと思った。私も学区の中で知らないところが多かったので、もっと地域のことについて理解を深めていきたい。</p> <p>○講師や印刷会社へのお願いも、見通しをもってしないと活動が中断されてしまうので、その点は気を付けて行わなければならないと思った。</p>